

6 エスカレーター

■基本的な考え方■

高齢者、歩行困難者等が円滑に利用できる構造とする。

整備基準	目標となる指針
<p>6 エスカレーター エスカレーターを設ける場合には、イの表〔建築物〕5の項〔エスカレーター〕に定める構造とすること。</p>	<p>4 エスカレーター 不特定かつ多数の者が利用するエスカレーターを設ける場合には、1の表〔建築物〕5の項〔エスカレーター〕1に定める構造とすること。</p>

整備基準の解説

- 整備の対象
エスカレーターを設ける場合に一以上のエスカレーターを整備する。
- 建築物のエスカレーターと同様に規定している。

目標となる指針の解説

- 整備の対象
不特定かつ多数の者が利用するエスカレーターとは、一般旅客が常時利用するすべてのエスカレーターをいい、一以上のエスカレーターを整備する。
- 目標となる指針の建築物のエスカレーターと同様に規定している。